

名譽教授大平善梧先生著作目録

一 著 書

昭和一八年(一九四三年)

支那の航行権問題(大東亞國際法叢書四)

有斐閣

昭和二二年(一九四七年)

歌集「パゴータ」

昭和二四年(一九四九年)
最新國際条約集

富士出版社

昭和二七年(一九五二年)

國際法 I

國際法 II

日本大学通信教育部
日本大学通信教育部

昭和三四年(一九五九年)

日本の安全保障と國際法(有信堂全書)

有信堂

- 昭和三五年（一九六〇年）
集団安全保障と日本外交
一橋書房
- 昭和四〇年（一九六五年）
アジア外交と日韓関係——対韓論議を斬る
有信堂
- 昭和四一年（一九六六年）
国際法Ⅰ・Ⅱ
日本大学通信教育部
- 昭和四二年（一九六七年）
自衛隊と憲法
田中書店
- 二編 著
- 昭和一五年（一九四〇年）
中村進午博士追悼記念「時局関係国際法外交論文集」
- 昭和二三三年（一九四八年）
国際貿易憲章の研究
有斐閣
- 世界貿易憲章の諸問題（東洋経済講座叢書第三〇輯）
東洋経済新報社
- 昭和三〇年（一九五五年）
国際不正競争の研究
有斐閣
- 昭和三三年（一九五八年）

軍縮問題の研究

桜書房

昭和三六年(一九六一年)

法学の知恵

井上書房

国際経済法の諸問題(国際研究 第三卷)

日本国際問題研究所

昭和三七年(一九六二年)

国際私法の基本問題(久保岩太郎先生還暦記念論文集)

有信堂

核時代の軍縮問題

国民出版協会

国際経済法の諸問題・続(国際研究 第四卷)

日本国際問題研究所

昭和四〇年(一九六五年)

第二次大戦における連合国財産処理

大蔵省

軍縮の総合的研究

日本国際問題研究所

無体財産権の国際的保護

日本国際問題研究所

昭和四一年(一九六六年)

国際貿易法の研究

日本国際問題研究所

岩田新先生を偲びて

岩田会

昭和四三年(一九六八年)

国際連合の二〇年

総理府

三 論 文

昭和三年（一九二八年）

グローテウスの自然法の神学的考察（卒業論文）
グローテウス自然法の理論的構成

ヘルメス 第一一号

昭和四年（一九二九年）

引渡し無き物権の贈与——衡平法の変遷（岩田プロセミナル法律論文集翻訳の内）
動態法律学としての社会法学の主張

商学討究 第四卷上冊

昭和五年（一九三〇年）

高柳賢三教授著「法律哲学原理」（書評）

一橋新聞 第一〇五号

昭和六年（一九三一年）

藤本捨助「日本民法総論」（書評）
松村勝太郎「小作権に関する研究」（書評）
奈良正路「入会権論」（書評）
田中耕太郎編「経済法令集」（書評）

大学と社会 第二号
大学と社会 第三号
大学と社会 第三号
大学と社会 第五号

昭和八年（一九三三年）

危機 一九三六年
満州国の国籍問題

一橋新聞 第一七九号

昭和九年（一九三四年）

東京商大研究年報・「法学研究」二

国家相統の研究

満州国の司法制度 (上)

満州国の司法制度 (下)

沢田名垂と其の歌

昭和一〇年 (一九三五年)

土屋文明「山谷集」を評す (一)

昭和一一年 (一九三六年)

国際法学の継受

沢田名垂の歌

歌人としての大塚先生

土屋文明「山谷集」を評す (二)

昭和一二年 (一九三七年)

戦争に於ける個人と国家

日本を中心としたる平和機構

大熊信行歌集

野矢常方の歌

鈴木北溪の思想と作品

昭和一三年 (一九三八年)

支那事変と国際法

中立と安全保障

東京商大研究年報・「法学研究」三

拓殖大学論集 第四卷第二号

拓殖大学論集 第五卷第一号

一橋会津会報 第三号

短歌街 第四卷第一二号

拓殖大学論集 第七卷第一号

歴史公論 第五卷第八号

一橋新聞 第二二九号

短歌街 第五卷第一号

日本国際協会 昭和一二年度夏期大学研究会テキスト

拓殖大学論集 第八卷第一号

一橋新聞 第二四八号

古典研究 第二卷第一〇号

短歌街 第六卷第一、二、四、五、七号

上田貞次郎編「戦時経済講話」所収

一橋論叢 第一卷第一号

昭和十四年（一九三九年）

- 国際法学の移入と性法論
- 事変と中立法規
- 支那事変と国際聯盟
- 国家及政府の承認を論ず——滿州国・フランコ政権の承認
- 新京再遊
- 新しき安定の道——事変下の我が国際法学界
- 支那の国際性と我が事変処理

空襲法論

法人の国籍——日滿合弁会社の国籍問題に触れつつ

空襲法理の発展

名誉教授中村進午博士逝く

支那租界に関する欧米文献目録

支那の法権制度と不動産準拠法

新南群島領有と国際先占

空襲論

我が海南島攻略と国際協約

海南島攻略と日仏協約

支那国際法の概観——植田捷雄著「在支列国権益概説」

新秩序の法理——戦時下躍進する国際法学

齋藤良衛著「外国人の対支経済活動の法的根拠」(書評)

昭和十五年（一九四〇年）

日本国際協会昭和十四年度夏期大学研究会テキスト

東京商大研究年報・「法学研究」四

一橋論叢 第四卷第三号

一橋論叢 第四卷第六号

拓殖大学論集 第一〇卷

外交時報 第九〇卷第一号

外交時報 第九一卷第五号

国際知識及評論 第一九卷第二号

支那 第三〇卷第四号

一橋新聞 第二八三号

一橋新聞 第二九〇号

一橋新聞 第二九八号

帝国大学新聞 第七六一号

一橋論叢 第二卷第四号

拓殖大学論集 第八卷第二号

拓殖大学論集 第九卷

国際知識及評論 第一八卷第五号

国際知識及評論 第一八卷第一〇号

帝国大学新聞 第七四二号

セルバン 一二月号

支那租界問題

軍事目標の爆撃

支那租界の中立性

支那の海関制度

英修道著「中華民國に於ける列国の条約權益」(書評)

支那租界關係文獻

支那に於ける列国の駐兵權

中村進午博士と國際法

英人逮捕事件の國際法的考察

東亞新秩序と租界問題

昭和十六年(一九四一年)

支那租界の歴史

法人の敵性

支那租界の國際法的地位

支那に於ける我が航權の確立

支那租界と國際地役

時局と短歌

揚子江の國際法上の地位

支那に於ける準租界

戦争と短歌

支那に対する心

仏印の印象

時局下の歌壇

日本國際協會昭和一五年度夏期大学研究会テキスト

中村進午博士追悼記念「時局關係國際法外交論文集」所収

國際法外交雜誌 第三九卷第三・四号

一橋論叢 第五卷第一号

一橋論叢 第五卷第五号

一橋論叢 第六卷第五号

外交時報 第九四卷第二号

國際知識及評論 第二〇卷第一号

改造 第二二卷第一六号

如水會報 第一九九号

東京商大研究年報・「法學研究」五

國際法外交雜誌 第四〇卷第四号

一橋論叢 第七卷第三号

一橋論叢 第八卷第三号

外交時報 第九八卷第一号

國際知識及評論 第二一卷第二号

國際經濟研究 第二一卷第三号

支那 第三三卷第六号

一橋新聞 第三二一号

一橋新聞 第三三四号

一橋新聞 第三三九号

如水會報 第二〇七号

租界への認識

昭和十七年(一九四二年)

仏印の東亜圏に於ける地位

支那の内河航行権

泰・仏印の新国境

平時封鎖より戦時封鎖へ

信夫淳平著「戦時国際法講義」(書評)

仏印研究の槩

日本経済法学会第四回大会(学会消息)

大東亜共栄圏と支那

カンボジア雜感

大東亜戦争と敵産管理

仏印紀行

仏印を中心として南洋を語る

大東亜圏に於ける広東の現状と其問題

一橋法学の父 中村博士

上海・広東・西貢

昭和十八年(一九四三年)

支那租界の条約上の性質

米英の在支治外法権の撤廃政策

日・仏印決済協定

広州灣租借地への皇軍の進駐

如水会会報 第二一五号

東亜学 第五輯

国際法外交雜誌 第四一巻第六号

国際法外交雜誌 第四一巻第一〇号

一橋論叢 第九巻第二号

一橋論叢 第九巻第五号

一橋論叢 第一〇巻第五号

一橋論叢 第一〇巻第六号

外交時報 第一〇四巻第四号

外交評論 第二二巻第一号

外交評論 第二二巻第五号

外交評論 第二二巻第八号

東京植民貿易学校「東亜經濟調査」二

支那 第三三巻第三号

一橋新聞 第三四七号

如水会会報 第二一八号

上田貞次郎博士記念論文集第四卷「人口及東亜經濟の研究」所収

国際法外交雜誌 第四二巻第一号

国際法外交雜誌 第四二巻第三号

国際法外交雜誌 第四二巻第四号

不平等条約と伊・仏・西・丁・瑞

仏国の在支租界返還

日独銀行支払協定

租借条約と戦争

ビルマ国の独立

泰・緬甸の新領土

南方仏教の文献

佐藤信淵の広域思想

昭和一九年(一九四四年)

支那の航行権回収運動

牧野博士と国際法

大東亜宣言の基本精神

昭和二一年(一九四六年)

在華租借地の現況

戦争と私有財産——主として大陸の敵産管理に就いて

国際法より世界法へ——米国に於ける世界政府論の展望

世界政府への路

昭和二二年(一九四七年)

休戦条約と講和条約との関係

国際連合と世界経済

国際法外交雑誌 第四二卷第六号

国際法外交雑誌 第四二卷第七号

国際法外交雑誌 第四二卷第八号

国際法外交雑誌 第四二卷第九号

国際法外交雑誌 第四二卷第十号

国際法外交雑誌 第四二卷第十一号

一橋論叢 第一一巻第五号

外交時報 第一〇七巻第三号

藤本博士還暦祝賀論文集所収

一橋論叢 第一三巻第三号

国家試験 第一六巻第三号

国際法外交雑誌 第四五巻第三・四号

国際法外交雑誌 第四五巻第五・六号

国際法外交雑誌 第四五巻第九・一〇号

財政 第一一巻第八号

国際法外交雑誌 第四六巻第三号

一橋論叢 第一八巻第一号

昭和三年(一九四八年)

- 国際貿易機関の構造
- 国際連合と国際貿易機関
- 横田喜三郎著「戦争犯罪論」(書評)
- 国際人権宣言(一・二)
- 平和日本と新世界経済機構
- 最新の国際法学界
- 国際貿易機関の法的性質——国際法上の特殊法人の形成
- 基本的人権と世界平和
- 国際連合と平和的変更

東京商科大学国際関係研究会編「国際貿易憲章の研究」所収
東洋経済講座叢書 第三〇輯「世界貿易憲章の諸問題」所収

- 国際法外交雑誌 第四七卷第一号
- 国際法外交雑誌 第四七卷第一・二号
- 国際法外交雑誌 第四七卷第三・四号
- 一橋論叢 第二〇卷第一・二号
- 法学新報 第五五卷第一・二号
- 国際連合 第二八卷第五号
- 法律文化 第三卷第九号

昭和四年(一九四九年)

- 国際連合と地域的協定
- P. C. Jessup, A modern law of nations and introduction, 1948 (書評)
- 国際連合と地域的協定
- 最近国際関係文献目録
- 国連憲章起草の脱漏

「太平洋同盟と日本」所収

- 国際法外交雑誌 第四八卷第三号
- 国際法外交雑誌 第四八卷第五号
- 一橋論叢 第二二卷第五・六号
- 世界とわれら 第三〇卷第一二号

昭和五年(一九五〇年)

- 国際連合と永世中立
- 日本公法学会・国際法学会(学会消息)
- 中共政権の承認問題
- IMCOへの路——海洋自由論と世界経済
- 一橋法学の七五年(座談会)

国際法外交雑誌 第四九卷第三号

- 一橋論叢 第二三卷第一号
- 一橋論叢 第二三卷第五号
- 一橋論叢 第二四卷第四号
- 一橋論叢 第二四卷第四号

国連加盟をめぐる座談会

法律時報 第二二卷第二号

昭和二六年(一九五一年)

米国の対華外交政策

朝鮮動乱と国際連合の強化

対日講和条約と集団的自衛権

国際法学会(学会消息)

軍事基地の歴史と法理論——対日講和と安全保障とに関連して

日米共同防衛論

昭和二七年(一九五二年)

政治及経済

公海

日本の開国と国際法

国際連合安全保障理事会における拒否権の行使

軍艦乗組員の外国領土における地位(一)

海洋の自由と漁業協定

ドミニオンと中立

フィリピンと太平洋安全保障

果して力は平和を導くか

憲法第九条の戦力

昭和二八年(一九五三年)

Japan's reception of the law of nations.

「現代中国を繞る世界の外交」所収

国際法外交雑誌 第五〇巻第一号

国際法外交雑誌 第五〇巻第五号

一橋論叢 第二五巻第一号

外交政策時報 第一号

読売評論 三月号

国際法学会編「平和条約の綜合研究」下巻所収

国際法講座第一巻所収

一橋大学法学会編「現代法学の諸問題」所収

国際法外交雑誌 第五一卷第二号

国際法外交雑誌 第五一卷第六号

一橋論叢 第二七巻第三号

法学新報 第五九巻第九号

中央公論 第六七巻第一号

中央公論 第六七巻第一号

読売新聞 二七年三月三一日

Annals of the Hitotsubashi Academy 4—(1)

太平洋戦争と開戦法理
 基本的人権と国際法
 経済的国際協力
 軍艦乗組員の外国領土における地位(二)
 大陸棚と保存水域——海洋における公正な国際漁撈基準の要望
 日本の国際法の受容
 大陸棚及び保存水域に関する文献目録
 大陸棚の法理——海洋の中に大陸のテレスがある
 MSAの法的構造とその対日影響
 憲法第九条と国際法

昭和二十九年(一九五四年)

The freedom of the seas and Japan.

戦争の開始とその効果
 中華民国外交関係——華米関係、華ソ関係、日華関係
 公船の国際法上の地位——クリコフ船長事件について
 中国内戦と国際法
 国際法優位性の限界——イラン石油事件に関連して
 海洋資源の配分原理——新しい公海自由論の展開
 福竜丸事件と国際法

昭和三十年(一九五五年)

Colonialism and international cooperation in Asia.
 国際不正競争と公海漁業

日本外交学会編「太平洋戦争原因論」所収

国際法講座第二卷所収

国際法講座第一卷所収

国際法外交雑誌 第五二卷第三号

一橋論叢 第三〇卷第三号

商学討究 第四卷第三号

比較法雑誌 第二卷第一号

比較法雑誌 第二卷第一号

法律のひろば 第六卷第九号

新しい日本の進路

Annals of the Hitotsubashi Academy 5—(1)

国際法講座第三卷所収

アジア政経学会編「中国政治経済綜覧」所収

国際法外交雑誌 第五三卷第一・二号

一橋論叢 第三二卷第四号

比較法雑誌 第二卷第二・三・四号

世界とわれら 第三三卷第三号

水産界 第八三四号

Annals of the Hitotsubashi Academy 6—(1)

「国際不正競争の研究」所収

ビキニ事件の解決と残された法律問題——小田助教教授の批判に答えつつ
ビルマのバウダ社会主義

ジュリスト 第七七号
アジア問題 第四卷第四号

昭和三十一年(一九五六年)

ブライアリ博士の憶い出

アメリカ印象記

国連加盟をめぐる座談会

試験に立つ国際連合(座談会)

三つの世界を巡って

国際法外交雑誌 第五五卷第一号

世界とわれら 第三五卷第一号

世界とわれら 第三五卷第一号

時の法令 第二二七号

如水会会報 第三一九号

昭和三十一年(一九五七年)

The territorial problems of the Peace Treaty with Japan

平和条約体制の形成と改訂

神川先生還暦記念「近代日本外交史の研究」(書評)

法学研究のための一指针——一橋にあてた外遊中の三つの書翰

集団的安全保障と世界平和

スエズ、ハンガリア動乱と国際連合

イスラエルと中近東動乱

国際連合強化の道

アジア経済外交の推進条件

太平洋不可侵条約は可能か

安保条約改定の必要

Annals of the Hitotsubashi Academy 7—(2)

一橋学会編「戦後法律体制の動向」所収

国際法外交雑誌 第五五卷第六号

一橋論叢 第三七卷第四号

国際政治 一九五七年第一号

国際政治 一九五七年

外交季刊 第二卷第二号

国連評論 第三六卷第六号

アジア問題 第六卷第四号

日本及日本人 七月号

読売新聞 三二年三月二一日

昭和三十三年(一九五八年)

軍縮と国際法

アジアにおける日本の位置
日ソ漁業の国際法史的概観
中東問題と国際連合

海洋法国際会議とその成果

現下の国際的法律問題——国際法協会ニューヨーク総会を中心として（座談会）

政策決定と国際法——国際法の魔術——国際法学者の一の反省

軍備縮小と安全保障

軍縮の基本問題

ネールの平和五原則

李ラインと竹島の問題点

アジアに於ける日本の地位

昭和三四年（一九五九年）

ケースメソッドと国際法

アジア・アフリカ法律諮問委員会カイロ会議に出席して

集団安全保障の本質

日本の中近東外交とその課題

二つのエルサレム

オアシスの宗教

安保条約の改定問題

安保問題における真実

アラブの真実

裁判所は条約について審査権を有するか

横田先生還暦祝賀「現代国際法の課題」所収

「東洋思想講座」(二) 所収

国際法外交雑誌 第五七卷第三号

外交時報 第九五五号

国連評論 第三七卷第五号

ジュリスト 第一五九号

時の法令 第二八一号

国防 二月号

国防 一〇月号

アジア研究 第五卷第三号

日本及日本人 三月号

経済往来 第一〇卷第一号

法学研究（二橋大学研究年報）第二号所収

一橋論叢 第四一巻第三号

国際政治 一九五九年第二号

外交時報 第一三三号

国連評論 第三八巻第一号

国連評論 第三八巻第二号

国連評論 第三八巻第九号

外交春秋 九月号

政治公論 第三五号

綜合法学 第一七号

憲法第九条と外国軍隊

政治的亡命の法理——庇護権をめぐって

平和教授「八つの質問」への解答

日米安保条約を改定せよ

均衡による政治

安保改定はなぜ必要か

安保条約改定の問題点

安保討論

一〇年は長いか短いか

安保改定に対する我々の立場

昭和三五年（一九六〇年）

The statement in favor of the revision of the Japan-U. S. Security. Hitotsubashi Journal of Law and Politics 1-(1)

中華人民共和国の外交（中国外交の基本的性格 対日関係）

安保条約の期限と適用区域

軍縮問題の展望

宇宙時代における国際問題

国際法より見た安保改定問題

中共経済建設の基本方針

ベトナム賠償の問題点

日中関係の打開

違憲条約の国際法上の効力

中立主義の意義と限界

新条約は受け入れてよい

警察学論集 第一二巻第五号

国防 第八巻第一号

経済往来 第一二巻第二号

月刊政治 五月号

月刊政治 九月号

経済時代 十一月号

時の課題 六月号

時の課題 八月号

時の課題 一二月号

安全保障研究会声明書

アジア政経学会編「中国政治経済綜覧」昭和三五年度版所収

国際法外交雑誌 第五九巻第一・二号

外交季刊 第五巻第三号

国際問題 第九号

自由と正義 第一一巻第一号

政治公論 第三七号

時の法令 第三三九号

時の法令 第三四七号

時の法令 第三五八号

時の法令 第三六九号

経済往来 第一二巻第二号

安保条約の鬼となる
 安保の疑義はどこにあるか
 軍縮問題の新展望
 インド中立主義の実相
 この眼で見たアジアの中立主義
 一橋法学のあり方
 安保改定反対論にたいする疑問
 改善された新条約は受け入れてよい

昭和三十六年（一九六一年）

集団防衛と中立
 国連と日本（座談会）
 軍縮問題における幻想と現実
 両極化における内乱の法理
 ベルリン危機と国際法
 キューバ問題と内乱の法理
 フルシチョフの核外交
 戦争と平和の諸問題——新しい天に新しい秩序形成

昭和三十七年（一九六二年）

グロチウスの *De Jure Belli ac Pacis* に対する一考察
 国際投資法の序説
 軍縮と集団安全保障
 中国の国連加盟問題

経済往来 第二卷第六号
 経済往来 第二卷第七号
 朝日グラフ 三五年一月一七日
 国民サロン 三月号
 時の課題 三月号
 橋人法学 第二号
 安全保障研究会声明書
 自由と正義 一月号

国際研究二「中立主義の研究」(下) 所収

国際問題 第一四号
 国防 第九卷第七号
 国防 第九卷第一〇号
 日本及日本人 第一二卷第八号
 経済往来 第一三卷第六号
 経済往来 第一三卷第一〇号
 世界週報 第四二卷第一号

久保岩太郎先生還暦記念論文集「国際私法の基本問題」所収
 国際研究四「国際経済法の諸問題」続巻所収
 軍縮問題研究会編「核時代の軍縮問題」所収
 アジア政経学会編「中国政治経済綜覧」昭和三十七年度版所収

第二次大戦後における日ソ漁業関係
百々巳之助博士の訃を悼む
グロチウスとその自然法
北洋漁業をめぐる日ソ関係

昭和三十八年(一九六三年)

Hugo Grotius and his law of nature.

グロチウスの De Veritate Religionis Christiana と日本

グロチウス詣で

軍縮研究ノート

軍縮の現代的意義と課題

法学研究の指針——国際法を学ぶ方のために

キューバはこんな国だった

平和のレアリズム——キューバ事件に想う

ビジョンなき中進国の外交

昭和三十九年(一九六四年)

正しい安全観の確立と将来の対策

中国の国連加盟問題

田村幸策著「世界外交史」(書評)

前原光雄教授還暦記念「国際法学の諸問題」(書評)

ロスコー・パウンド逝く

中立及び中立主義

日本の近隣外交を考える(座談会)

国際法外交雑誌 第六〇巻第四・五・六号

国際法外交雑誌 第六一卷第一・二号

一橋論叢 第四七巻第四号

外交時報 第四六号

Hitoisubashi Journal of Law and Politics, vol. 2.

英博士還暦記念論文集「外交史及び国際政治の諸問題」所収

一橋論叢 第四九巻第三号

一橋論叢 第五〇巻第六号

国際問題 第三六号

綜合法学 第六巻第四号

経済往来 第一五巻第一号

自由 第五巻第一号

自由 第五巻第一二号

日本国際問題研究所編「日本の安全保障」所収

アジア政経学会編「中国政治経済綜覧」昭和三九年度版所収

国際法外交雑誌 第六二巻第六号

国際法外交雑誌 第六三巻第三号

一橋論叢 第五二巻第四号

季刊社会科学 第三巻

国際問題 第四七号

軍縮における理想と現実
 アジア外交に求めるもの
 イデオロギーの共存（座談会）
 アジア外交のビジョン——太平洋共同社会の構想
 原子力時代の防衛体制

国連 第四三卷第九号
 経済往来 第一六卷第一号
 経済往来 第一六卷第四号
 自由 第六卷第七号
 自由 第六卷第一号

昭和四〇年（一九六五年）

日本の安全保障論
 国家の対立と国際連合
 日韓国交正常化への道
 ベトナム内戦の悲劇
 ソウルと如水会
 世界軍縮への構想
 私の履歴書

時事問題研究所編「核なき日本の安全保障」所収

経済往来 第一七卷第三号
 自由 第七卷第五号
 自由 第七卷第八号
 如水会会報 第四二二号
 一橋論叢 第五四卷第一号
 善以会編「善以会——大平先生還暦記念」所収

昭和四一年（一九六六年）

米外交と国際法
 海の文明と山の慣習にたつ国
 台湾を見直す——二つの中国と二つの台湾
 Japanese Treatment of the Alien Enemy Property during World War II.
 第二次大戦における連合国財産処理
 意志の人

Hitoisubashi Journal of Arts and Sciences, Vol. 7, No. 1.

国際問題 第八一号
 経済往来 第一八卷第一号
 時の課題 一二月号
 一橋論叢 第五五卷第六号
 岩田会編「岩田新先生を偲びて」所収

昭和四二年(一九六七年)

沖繩懇談会への提言——一括返還要求は可能である

沖繩返還への展望

沖繩視察歌日記

昭和四三年(一九六八年)

一九七〇年を迎える国民の宿題

欧州視察談

沖繩返還論の展望

憲法いかに読むか

NATOの教訓(巻頭言)

チェッコの悲劇(巻頭言)

核防条約の問題性(巻頭言)

大学問題と学生参加(巻頭言)

中村進午先生の学問と人格

安全保障の諸形態

国連条約草案シンポジウムについて

外交と軍事力の関係

昭和四四年(一九六九年)

佐藤内閣と沖繩問題(巻頭言)

昔の僧兵 今の全学連(巻頭言)

ニクソンのアジア政策(巻頭言)

公害の規制に関する国際的動向

時の課題 一〇月号

自由 第九卷第一〇号

緑丘(小樽商大同窓会誌) 第五七号

月刊時事社編「核時代の日本を考える」所収

黎明叢書 第四一号

如水会会報 第四五五号

「成人に贈る書」所収

軍事研究 九月号

軍事研究 一〇月号

軍事研究 十一月号

軍事研究 十二月号

海外事情 第一六卷第一〇号

国民講座

日本の安全保障二「安全保障体制論」所収

国際法外交雑誌 第六七卷第四号

国際時評 五月号

軍事研究 一月号

軍事研究 二月号

軍事研究 三月号

公害と対策 四月号

(151) 名誉教授大平善梧先生著作目録

明治維新と近代化
私はなぜ機動隊を入れたか
A 学園の紛争に寄す
一橋大学と私

自由 第一一巻第六号
自由 第一一巻第一一号
如水会会報 第四七五号
善以会編「白き警梯」所収